

標

ブナシンポジウム

冷温地帯に分布するブナは、関西の標高の低いところに残されていることは珍しく、南限に近いことから、国の天然記念物に指定されている和泉葛城山ブナ林。新緑の季節を前に、最新の調査と、この度展示される樹齢300年のブナ標本の解説を聞きながら、ブナの歴史と現状について考察します。

①「樹齢 300 年のブナ標本が語る和泉葛城山ブナ林」

きしわだ自然資料館館長 岡本 素治

②「天然記念物ブナの幹直径を測定してわかったこと」

NPO 緑の地球ネットワーク代表 前中 久行

③ パネルディスカッション

布谷 知夫(三重県総合博物館特別顧問)・岡本 素治・前中 久行・田中 正視(貝塚市文化財保護審議会委員)
コーディネーター：佐久間 大輔(大阪市立自然史博物館主任学芸員)

【日時】
2019年

3月21日

(木・祝)

13:30~15:30

和泉葛城山の
ブナを語る

いづみかつらぎさん

【会場】岸和田だんじり会館 1F

〒596-0074 岸和田市本町11-23 <https://kishibura.jp/danjiri/>



入場無料
先着50名
要申込み

- ◆ 主催：岸和田市教育委員会・貝塚市教育委員会・公益財団法人大阪みどりのトラスト協会
- ◆ 後援：大阪府 ◆ 協力：大阪市立自然史博物館
- ◆ 申込先：公益財団法人大阪みどりのトラスト協会

TEL 06-6614-6688 FAX 06-6614-6689 Eメール midori@ogtrust.jp

〈専用申込みフォーム〉

<http://bit.ly/ogt190321>



※ FAX・メールでお申込の場合は、「ブナシンポジウム」と明記の上、お名前、ふりがな、(ご所属)、お電話番号、E-mailアドレス、お住いの市町村をお知らせください。